

滋賀県警察の組織機構等

- 定員 条例定員 2,739人(警察官2,432人、一般職員307人)
- 警察本部組織 34所属(警務部9所属、生活安全部7所属、刑事部7所属、交通部6所属、警備部4所属、警察学校)
- 警察署組織 12警察署(63交番、76駐在所)
- 令和8年度当初予算 約355億円(うち人件費約277億円)

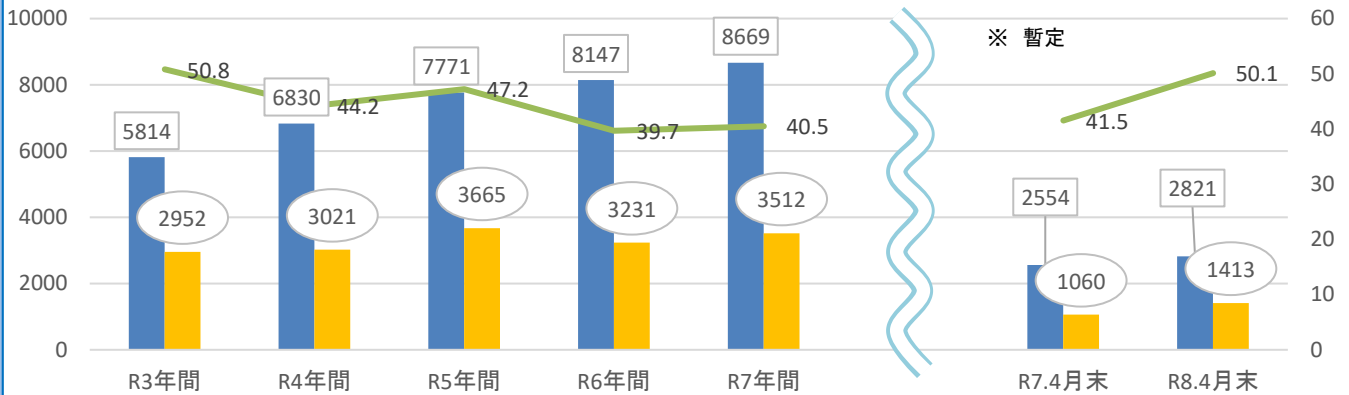


犯罪・事故の発生状況

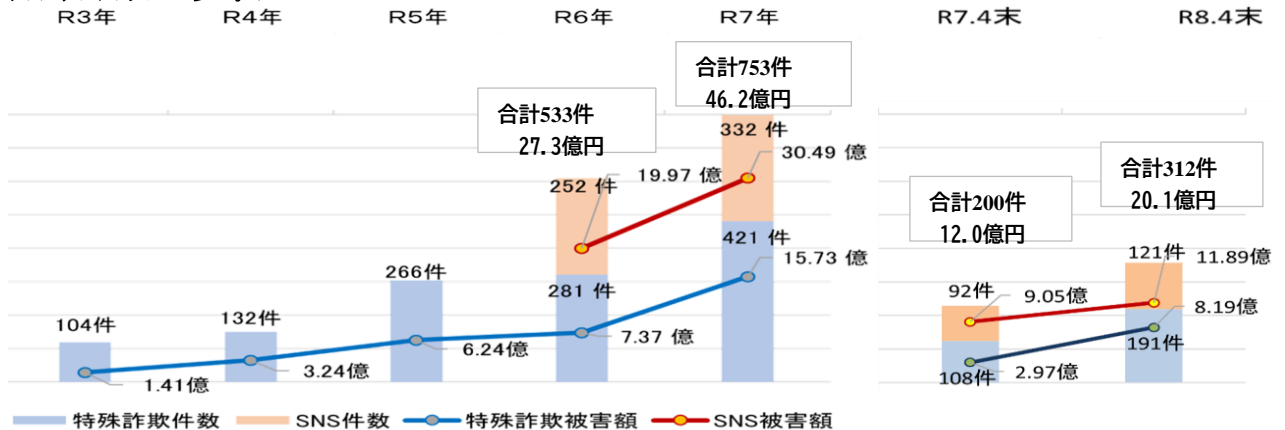
- 刑法犯認知件数 令和7年中 8,669件(前年比+6.4%) 令和8年4月末 2,821件(前年比+10.6%)
- 刑法犯検挙件数 令和7年中 3,512件(前年比+8.7%) 令和8年4月末 1,413件(前年比+33.3%)
- 交通事故発生件数 令和7年中 2,782件(前年比-0.7%) 令和8年4月末 841件(前年比+0.3%)

治安情勢の推移

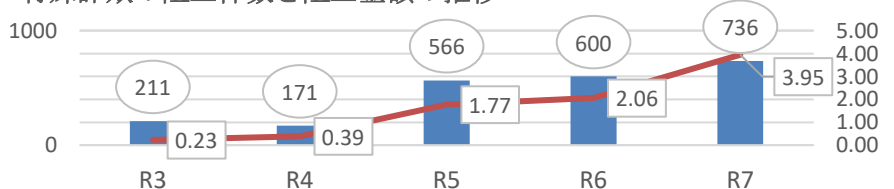
刑法犯認知件数の推移



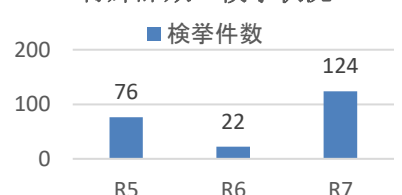
特殊詐欺の現状



特殊詐欺の阻止件数と阻止金額の推移



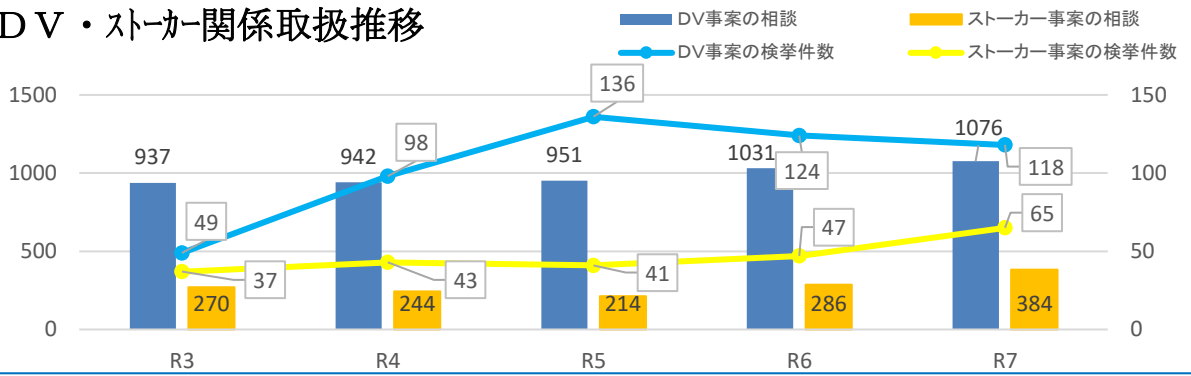
特殊詐欺の検挙状況



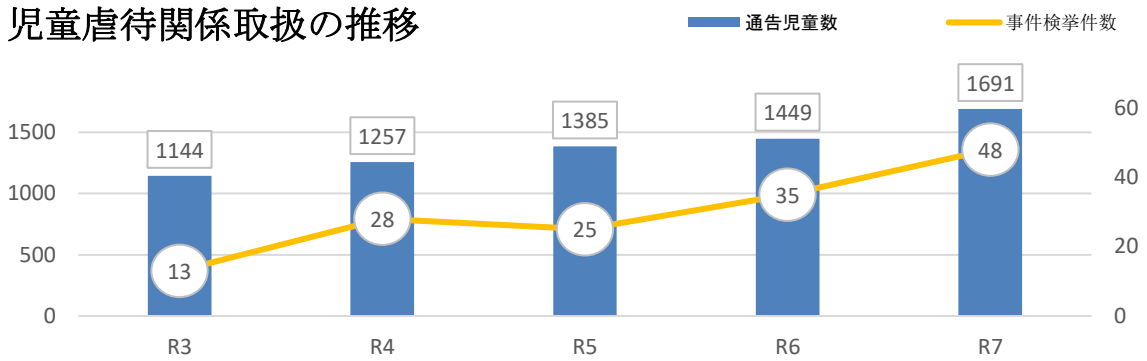
※ SNS型投資・ロマンス詐欺を含まない。

※ SNS型投資・ロマンス詐欺を含まない。

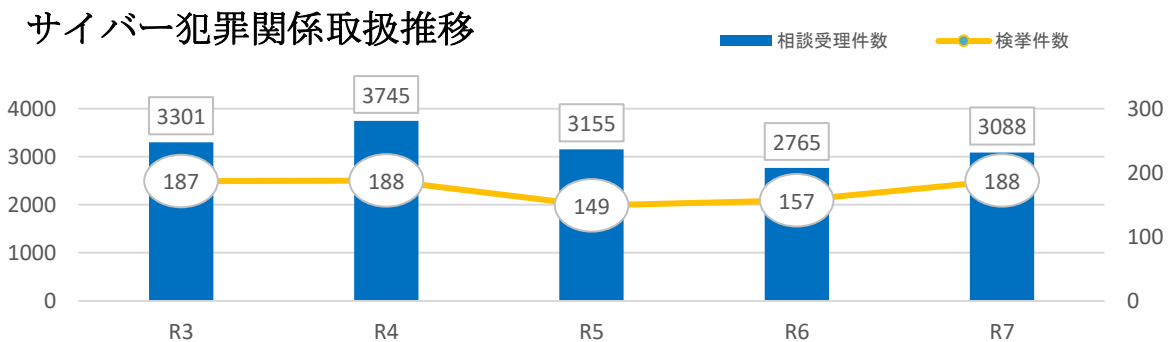
DV・ストーカー関係取扱推移



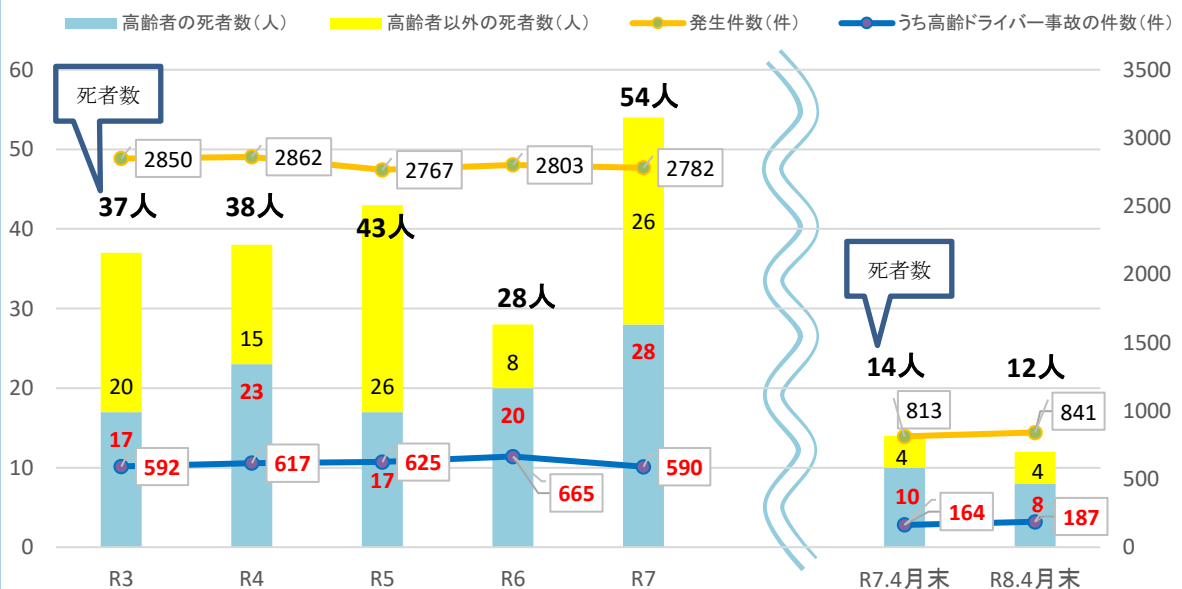
児童虐待関係取扱の推移



サイバー犯罪関係取扱推移



交通事故の推移



令和 8 年度 主要施策

1 犯罪や事故から県民を守るための安全・安心な社会の実現

(1) 女性・子ども・高齢者を事件・事故から守る施策

主 な 事 業 内 容	
1 犯罪被害者等への支援強化事業	667 万 5 千円
2 トクリュウ対策重点化事業【新】	1 億 6,229 万 4 千円
3 安全・安心アプリ利用促進事業	595 万 7 千円
4 SNSで犯罪防ぐ情報発信事業	194 万 3 千円
5 特殊詐欺等被害防止対策調査研究事業【新】	400 万円
6 安全・安心なサイバー空間構築推進事業	315 万 6 千円
7 子どもたちを守るITリテラシー向上促進事業【新】	207 万 9 千円
8 地域見守りカメラ設置促進事業	231 万円
9 お試し自主返納・運転ライフ見直し事業	355 万 3 千円
10 字幕表示システムによる免許行政サービス事業【新】	220 万 3 千円

(2) 捜査力強化等のための装備資機材の整備

主 な 事 業 内 容	
1 警ら用自動車等の更新整備	4,882 万 3 千円
2 証拠品管理システム高度化改修事業【新】	4,161 万円

2 災害時等に県民の命を守るための警察基盤の充実・強化

主 な 事 業 内 容	
1 交番・駐在所新築整備	7,050 万円
2 大津北警察署移転新築整備	2 億 6,571 万 8 千円
3 交通安全施設整備	14 億 980 万 9 千円

項目1 犯罪や事故から県民を守るための安全・安心な社会の実現

(1) 女性・子ども・高齢者を事件・事故から守る施策

1 犯罪被害者等への支援強化事業

事業費 667万5千円

概要

身体犯罪被害者にかかる初診料、性感染症等検査費用、再診料、診断書経費等を公費負担するとともにカウンセリング等を行うほか、犯罪被害者に対する直接支援業務を行い、被害者やその家族等への支援を強化するもの



2 トクリュウ対策重点化事業【新】

事業費 1億6,229万4千円

概要

トクリュウ犯罪に対する抑止力強化を目的として、情報発信や広報啓発の推進と最新の各種資機材等を導入するもの



3 安全・安心アプリ利用促進事業

事業費 595万7千円

概要

防犯アプリに認知症高齢者の発見・保護や特殊詐欺被害防止に資する機能を拡充するとともに、県民に必要な安全情報を提供することで、県民の自発的な行動変容に繋げ、県民全体の犯罪抑止力を向上するもの



4 SNSで犯罪防ぐ情報発信事業

事業費 194万3千円

概要

ソーシャルメディアの機能を積極的に活用し、県民を対象として「闇バイトなどの犯罪に加担しない」「県民が犯罪の被害に遭わない」ための情報発信を行うもの



5 特殊詐欺等被害防止対策調査研究事業【新】

事業費 400万円

概要

官学連携により専門的知見を活用し、特殊詐欺等の被害実態やそのメカニズムを解明して、EBPMに基づく効果的な被害防止対策を推進するもの



6 安全・安心なサイバー空間構築推進事業

事業費 315万6千円

概要

事業者に対するセキュリティ診断および県内の中小企業向けのサイバーセキュリティセミナーを継続実施することにより、事業者のサイバーセキュリティ意識の向上を図るもの

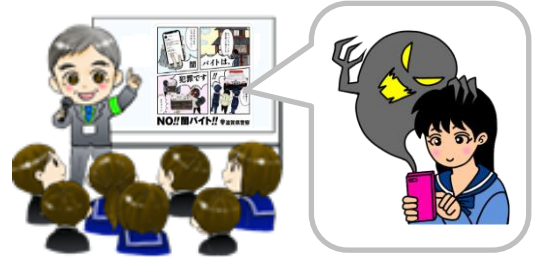


7 子どもたちを守るITリテラシー向上促進事業【新】

事業費 207万9千円

概要

県内の小中学校等において実施するサイバー防犯教室用の動画コンテンツを作成し、子どもたちがSNS上のトラブルから身を守ることができるようITリテラシーの向上を促進させるもの

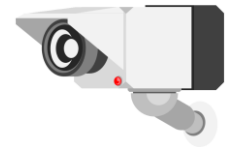


8 地域見守りカメラ設置促進事業

事業費 231万円

概要

防犯カメラを無償貸し付けすることにより、防犯活動を補うとともに、行政機関による設置促進の仕組みづくりを促すため、防犯カメラの購入を行うもの



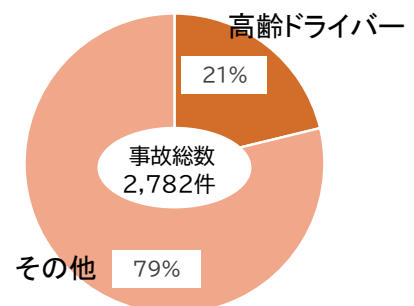
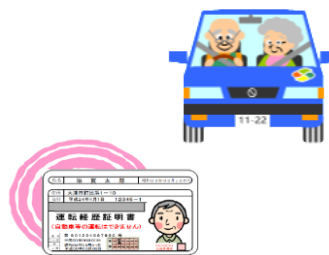
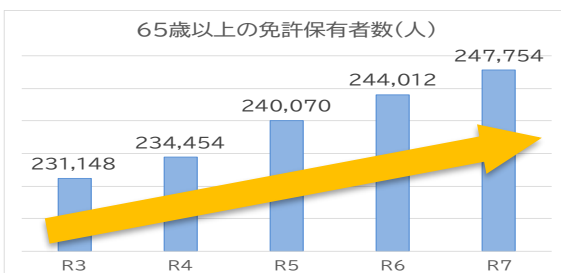
9 お試し自主返納・運転ライフ見直し事業

事業費 355万3千円

概要

「お試し自主返納」の継続実施に加え、事業への参加を促すテレビ番組の放映や、参加後も運転を継続される高齢ドライバーに対し、分析用車載タグを貸し出し、アプリによる運転診断をもとに自身の運転ライフを見直してもらう取組により、安全運転に対する意識付けを図るもの

令和7年中の
高齢ドライバーによる事故



10 字幕表示システムによる免許行政サービス事業【新】 事業費 220万3千円

概要

自動翻訳機能付きの字幕表示システムの導入により、免許行政サービスを利用する外国人や聴覚障がい者等に対して、制度や更新手続等の正確な内容理解につなげるもの

運転免許講習等



(2) 捜査力強化等のための装備資機材の整備

1 警ら用自動車等の更新整備

事業費 4,882万3千円

概要

警察活動の基盤となる警察車両の計画的な更新整備を図るため、警ら用自動車（白黒パトカー）等の更新整備を行うもの



2 証拠品管理システム高度化改修事業【新】

事業費 4,161万円

概要

ICT（二次元バーコード）を活用した証拠品管理システムの高度化改修により、証拠品の適正管理を推進するもの



項目2 災害時等に県民の命を守るための警察基盤の充実・強化

1 交番・駐在所の新築整備

事業費 7,050万円

概要

地域防災の拠点となる県下139か所の交番・駐在所（交番63か所・駐在所76か所）のうち、経年劣化による老朽化が著しい1施設を新築に向けて整備するもの（令和8年度は甲賀警察署土山交番を予定）



2 大津北警察署移転新築整備

事業費 2億6,571万8千円

概要

老朽・狭隘化が著しい大津北警察署（昭和46年度、築55年）の移転新築整備に伴い、移転先用地の造成工事および建築工事を行うもの

（参考）高島警察署（昭和48年度、築53年）は今後の事業着手に向け、課題の整理や事業方針等を検討中



3 交通安全施設整備

事業費 14億980万9千円

概要

信号機の新設、老朽化や摩耗の著しい道路標識や道路標示の更新、信号灯器のLED化等に取り組むもの

